

設立にあたって

「加工されていない生(き)のままの芸術」アール・ブリュットの作品が、近年、全国各地で発見され、多くの人を魅了しています。

日本において、作品の多くは障害者福祉の現場で生みだされています。また、無名の人の作品が、審美眼を持つ人に探し出されたり、全くの偶然で見出されたりすることもあります。

作り手が評価を気にしないで制作する、その作品たちが社会と出会うためには、様々な場面での人々の関わりが必要です。そして、私たちは大きな楽しみをもって、このことに関わりたいと思います。

国内の各地でアール・ブリュットに関係する活動が胎動してきている今、アール・ブリュットを支える環境全体の底上げを図るためには、国内外の幅広い関係者や団体が手を携えることが必要と考え、このたび「アール・ブリュットネットワーク」を設立することといたしました。

私たちは、このネットワークのもと、アール・ブリュットの理解や議論が深まるような取組を進め、国内外にアール・ブリュットの魅力を発信していきます。

趣旨に賛同いただける多くの皆様のご参加を得て、芸術や福祉だけでなく、教育や観光などさまざまな分野をつなぐ横断的な活動にしていきたいと考えています。

2013年 2月

アール・ブリュットネットワーク会長 青柳正規